

☆縦割り班活動☆

5年担任 坂井 雄丞

毎週火曜日のさわやか活動の時間はほのぼののタイムとして、「縦割り班活動」を行っています。昨年度は行うことができなかったのが、今年度2年ぶりの活動となりました。1～6年生で16の班をつくり、様々な活動を通して学年問わず仲を深めています。子供たちにとって、縦割り班で活動することのよさはたくさんあります。

☆触れ合いを通して、違う学年の友達と仲良くなろうという気持ちを高めることができる。

☆お互いのことを知ることができる。

☆「みんなと」「一緒に」様々な活動をすることで、達成感や充実感を味わうことができる。

☆自分の学級・学年以外にも、安心して活動できる集団があることで、学校生活をより充実したものにする
ことができる。

☆様々な教師と関わることで、担任以外の教師とも信頼関係を築くことができる。

活動内容は毎週変わり、フルーツバスケット、ドッジボール、なわとびなどに加え、今年度はボッチャも行いました。それぞれの場所で班長と副班長を中心に説明や準備、後片付けをしています。中学年は話を聞いたり高学年のサポートをしたりします。高学年にとっては役割を果たす自覚が芽生え、確実に成長できる大きな機会となっています。低学年にとっては、そんな上級生の姿に憧れの気持ちを膨らませつつ、朝からお兄さん・お姉さんと遊ぶことができるので楽しい時間になっています。

今年度の活動はもう終わりです。この縦割り班活動を通して、一人一人が楽しく学校に通い、石田小全体に学年を超えた仲間の輪が今まで以上に大きく広がってほしいと思います。



【フルーツバスケット】



【風船バレー】



【ボッチャ】



あおぞら級担任 若林 潤子

グラウンドが真っ白な雪に覆われた日の大休憩や昼休みには、子供たちが防寒着を着て外へと急ぎます。5年生と6年生の子供が、二人で雪玉を転がしていきます。どんどん大きくなった雪玉は、二人でも重そうです。あちらこちらで、雪玉を作って投げ合う雪合戦も始まっています。自分に向かってくる雪玉をうまくよけたり、相手に向かって投げたりするのを楽しんでいます。1年生の子供が、ふかふかの雪の上にダイブしています。気持ちよさそうです。

私も子供の頃は雪が大好きで、よく遊んだのですが、今では雪が積もると「あー、また雪かきだ。」「車の運転が心配だな。」など、うっとうしく思ってしまう。でも、雪は嫌いではありません。きっと子供の頃の楽しかった体験があるからだと思います。子供たちには、今のように、雪を遊び相手としてどんどん親しんでもらいたいと思います。降雪地に住んでいるのですから…。

